



海南海草支部総会に90名

松岡医師が「認知症について」学習講演

5/28(土)医療生協 海南・海草支部は総合介護支援センターげんきの近くにある海南市住民センターの会場で2011年度の支部総会を開催しました。機関紙に織り込んだ案内チラシと運営委員の呼びかけで、延べ約90名の組合員さんが参加されました。開会の挨拶は濱野支部長、山田理事の挨拶の後、中山副支部長から2010年度のとりくみ報告、運営

委員の熊代さんから地区、支部の財政報告と予算について、2011年度の支部の目標は事務長の月岡が行い、質疑、討論では地区財政と、支部財政について質問がありました。上田副支部長から17名の運営委員と、9名の総代が紹介されました。

総会の最後に、デイサービスげんきの職員が、緊張の面持ちで特別決議を読みあげ、東日本大震災の復興支援に全力を尽くすことを表明し、決議されました。

4月以降、職員の顔ぶれが大幅に変わったこともあり、山田所長から、総合介護支援センターげんきの事業経過報告と、職員紹介を行いました。「365歩の



マーチ」を替え歌にしたデイサービスげんきの歌を職員みんなで披露して第1部の総会を終えました。ボランティアの高野さんの美味しいコーヒーをとパウンドケーキで、コーヒータイムの後、第2部の学習会に移りました。

当初、生協病院の土生医師に講演をお願いしていましたが、急用の為、松岡医師に代わりましたが、松岡医師のわかりやすい認知症についての学習は好評でした。介護に悩む参加者の方からは質問もたくさん出されました。

この日は、台風の影響もあり、悪天候でしたが、たくさんの組合員の参加者と、学習会に参加された地域の方にも有意義な講演でした。

核兵器のない世界の平和と安全を

2011原水爆禁止国民平和進行…海南市

5/28(土)午後5時から、海南市役所前から、平和行進を行いました。

総合介護支援センターの職員、医療生協の組合員も医療生協、民医連の旗を掲げて集会に参加しました。参加団体は教職員組合関係、市民生協、民商、新婦人の会、年金者組合、医療生協等で約80名の参加でした。台風の接近で大雨の中でしたが、予定通り行進も行い、傘をさしての行進でしたが元気いっぱいシュプレヒコールを行いました。



和歌山市高齢者運動連絡会 第13回学習会

「原発・電力問題を考える」

3月11日に発生した東日本大震災は、宮城・岩手・福島3県を中心に甚大な被害をもたらしています。「安全神話」を突き崩す東京電力福島原発事故が加わり、深刻な事態です。全国で被災者支援の活動がとりくまれています。と同時に、防災対策、原子力政策・エネルギー政策の見直しが必要になっています。そこで今回、原発・電力問題の学習会を企画しました。各団体の東日本大震災支援活動の交流も行い、今後のとりくみに活かしていければと考えます。どなたでもご参加いただけます(無料)。

○と き 6月2日(木) 午後1時30分～3時30分

○と ころ 和歌山市中央コミュニティセンター2階活動室(2)

学習 : 「原発・電力問題を考える」 講師 : 松下 義和 氏

各団体の東日本大震災支援活動の報告・交流も行います。

主催/和歌山市高齢者運動連絡会 和歌山市有本 143-1 医療生協気付 TEL474-5990

豊かな支部活動をめざして 支部長会議

支部として班活動を援助しましょう
支部内に10班の活動班をつくりましょう



と き 6月7日(火) 午後2時～4時

と ころ 生協病院5階会議室

参加対象 各支部支部長、副支部長 (複数参加で)

組織・組合員活動推進本部委員

主催/和歌山中央医療生活協同組合・組織組合員活動推進本部